

# 上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより  
令和7年5月27日 第7号  
文責 校長 齋藤 真

## 5月も学びのラッシュ！その1

**絆の日（5月12日 月曜日）** 川崎中学校では毎月11日を「絆の日」とし、平成23年3月11日にあった東日本大震災を語り継ぐ活動を実践しています。この日は朝読書で、いわての復興教育の本「いきる かかわる そなえる」を読みました。岩手県の人間として、決して忘れることなく、地域の防災に生かしてほしいと願っています。



### 朝活動でタイピング学習（5月20日～）



普段の朝活動は読書をしておりませんが、期間限定で「鍛える」取組も取り入れています。今回は、タイピング学習です。生徒の皆さんは、授業でタブレットを使って学習する機会が増えていますので、その時にスムーズに入力ができるよう、タイピング技術を学んでいます。驚くほどのスピードで入力できる生徒もいて、しっかり鍛えていると感心します。

## 全校道徳「みんなで跳びたい」をみんなで学ぶ

体育祭のクライマックスのひとつだった長縄跳び。実は、あの感動的だった当日の競技に至る、事前の授業があったのです。それが5月14日（体育祭の3日前）に行われた全校道徳『みんなで跳びたい』でした。

内容はこのようなものでした。神奈川県のある中学校でのこと。運動会を間近に控えた2年1組で、「大縄跳び」について議論が行われた。あべちゃんという生徒がうまく跳べないことをきっかけに、勝負に勝つためにあべちゃんを外して応援係になってもらうか、それとも一緒に跳ぶかについての話し合い。「勝ちたい」と「一緒に跳びたい」の狭間で、2年1組は、どのようにして、どうすることを選ぶのか。

全校道徳では、自分が2年1組の一員になったつもりで、あべちゃんのクラスメイトになったつもりで、それぞれが真剣に考えました。どんな風に考えたか、川中生はどんな意見交換をしたか、そして実際の結末はどうだったのか…ぜひお子さんから後日談としてお話を聞いてほしいと思います。もし興味を持っていただけたのなら、YouTube **【みんなで跳んだ】**で



検索すると、実際の映像を見ることができます。全校道徳があって、あの感動の長縄跳びだったと改めて分かります。